

授業紹介～介護過程で「魔女集会(上級)」を実施して

魔女集会(上級)とは、簡単に言うと、地域の方々と交流&教わりながらコキアの枝を束にしてほうき(掃除用)にするイベントです。参加すると聞いたときにイベント名のように、自分も魔女みたいになれるのかととてもワクワクしました。

このイベントのネーミングは、世代間交流で若い人たちが、興味を持ってもらう期待を込めて高校生が考えたそうです。実際、このイベントの意義は地域住民と学生の世代間交流です。写真の通り、交流を楽しみながら下準備を行ったり、ほうきを作る様子が見られたりしました。



ほうきの作り方は、地域住民の90歳の高齢者(呼称:sさん)に教わりました。前情報として、週一でダンスを行うほど元気な方だと聞きました。90歳とは思えないくらい**元気な方**なのかなとイメージしていました。私は、あまり高齢者の方と関わる機会がなかったので、お話しするのが楽しみでした。最初は、ほうき作りの工程をみんなに披露していましたが、だんだんマンツーマンになっていきました。他の人とsさんが交流していたので、一人で作業をしていたらsさんが気づいてアドバイスをくれました。sさんのほうからアドバイスをする様子も多く見られました。よく周りを観察していて、**人に合った作り方を伝授することに長けている**などと思いました。休憩時間に、私とsさんともう一人の3人だけになった時間がありました。そこで、ゆっくりとお話をしました。植物が好きで、いろいろな花を育てていることや、ダンスの後のお食事会が楽しみだということや、長生きの秘訣は毎日体を動かしてご飯を食べることや、タクシー会社(除雪も)を経営していることや、家事・孫の世話をしていることなどを聞きました。ほうきを作るときの座る姿勢だったり、掃除や移動するときの姿勢だったりとてもきれいで日頃から健康に気をつけていました。イメージ通りの**とても元気な方**だとわかりました。sさんが身につけていた指輪を話題にしたところ、照れている様子も見られたので**シャイな一面**も発見できました。

実際に作ってみて、とても力があることがわかりました。ほうきとして使えるように紐でしっかり縛る必要があります。中でも、最後の行程の持ち手部分のところが複雑でsさんに3回ほど教わったけど、結局あまり理解できないまま、幼保の人たちに教える時間になりました。時間内に教え終わらなかったし、ほかの人たちに助けられました。**教える立場として最も大切なのが、人それぞれのペースがあることを頭に入れて教えること**だと実感しました。今回学べたことを、次何かを教える機会があれば生かしていきたいです。**失敗や反省も多かったけど、とても楽しい時間**でした。もう少し時間があれば、一人で作れそうだったのでまた挑戦してみたいです。